

“水辺散策路整備などで”

第1回「清須かわまちづくり協議会」開催

「清須かわまちづくり協議会」は、国土交通省で新たに創設された「かわまちづくり支援制度^{*}」の認定を受け、清須市内の河川敷が市民交流の場として、よりにぎわいのある空間となるよう、市民とともに河川空間の利活用を図っていくため、「自治会・市政推進委員及びみずとびあ庄内(清須市水防センター)やその周辺地域で活動している市民グループ等、学校関係者、河川管理者、清須市」により組織されました。



上 加藤清須市長のあいさつ
下 水辺散策路整備計画の説明



平成21年7月28日(火)みずとびあ庄内で開催された「第1回協議会」では、「みずとびあ庄内」から「庄内緑地公園」に至る水辺散策路整備計画等について意見交換がされました。各委員からは、今後、この支援制度を最大限に活かした、より良い水辺空間整備への期待する意見などが出されました。

※かわまちづくり支援制度

国土交通省では、地域の個性やニーズに対応した治水事業の一層の展開を図るため、にぎわいのある河畔空間の創出を目指す市町村等において、ソフト・ハード両面から、まちづくりと一体となった河川整備を推進する支援制度。

平成21年5月22日付けで、清須市内の庄内川をはじめ、全国67件の計画について認定され、住民・市町村等と河川管理者で一体となって策定された計画に基づき、まちづくりと一体となった河畔空間の創出や良好な河畔空間創出のための重点的な事業実施等を行う。